

レジデンシャル事業（Noism Company Niigata）評価書

【期 間】 評価期間はNoismのシーズン（秋～夏）とする ※20thシーズン：R5年9月～R6年8月

【評 価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
 B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
 C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）
 ※18thシーズン（市による評価）&19thシーズン（財団による評価）と同じ

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	20th実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」が盛んに行われている	1：Noism0,1,2新潟公演企画数【3企画以上/年】	3企画	B	【財団】 20thシーズンは「Noism×鼓童『鬼』」「Noism2定期公演vol.15」「20周年記念公演」を劇場で開催した。指標8は公演解説を伴うアフタートークを振付家や舞踊家を招く等して各公演で複数回開催し「作品の見方が少しわかった」「創作面のお話も興味深かった」等の声がアンケートに寄せられたためA評価とした。指標9の他団体との連携は東京バレエ団が主催した「かくや姫」、黒部舞台芸術鑑賞会実行委員会が主催した「黒部シアター2024春」、（公財）利賀文化会議が主催した「SCOT Summer Season 2024」等に出演、また新潟北高校から依頼を受け同高校向けの貸し切り公演を開催（来場者400名）し、指標を上回る9回のためA評価とした。全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成したことを評価する。指標5については、19thと同様、一部公演分の計測となっている。県外公演についても主催者への協力依頼などにより確実に計測し、新規来場者の獲得に向けた戦略・手法検討の参考とするなど、引き続き、レジデンシャル事業の発展に取り組んでいただきたい。 【外部有識者】 評価は妥当である。
	2：Noism0,1,2新潟公演の来場者数【3,235人以上/年】	3,678人	A	
	3：Noism0,1,2新潟公演の満足度【95%以上】	96.6%	B	
	4：Noism0,1,2県外公演企画数【2企画以上/年】	2企画	B	
	5：Noism0,1,2新潟&県外公演の新規来場者率【10%以上】	25.5% ※ 3企画のうち1企画分のみの計測に付、参考値	---	
	6：柳都会実施数【2回以上/年】	2回	B	
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘【1回以上/年】	1回	B	
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	8回	A	
	9：他団体との連携企画数（共催・受託等）【3回以上/年】	9回	A	
社会包摂系 ・他団体依頼公演等（再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ&オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上/年】	19回	A	【財団】 地域活動部門を創設して2年目のシーズン。市内小学校から募集をしたアウトリーチは非常に好評で指標の倍近い19回（参加数は1,741名）を数えたため指標10はA評価とした。ワークショップも子育て施設等から多くの依頼があり、指標を大きく超える8回のため指標11はA評価とした。アウトリーチでは子供が参加できる体験コーナーを設け多くの子供達が積極的に参加、98.5%と非常に高い満足度であり指標12はA評価とした。 【市】 各指標で要求水準を達成したことを評価する。アウトリーチの訪問先が西区と北区に集中しており、相手方の意向によるものではあるが、実施校の地域差にも配慮していただきたい。 【外部有識者】 評価は妥当である。
	11：ワークショップ実施数【3回以上/年】	8回	A	
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	98.5%	A	
生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	13：スクール実施数【2企画以上/年】	2企画	B	【財団】 スクールは「サマースクール」、オープンクラスは「バレエ」「レパートリー」等を実施した。いずれも年齢・対象（初心者、経験者）の異なる様々なクラスを用意、幅広い受講生にきめ細やかに対応し、指標15の満足度は99.5%と非常に高くA評価とした。Noismの活動を資金面で支援する活動支援会員（公演チケットの割引等の対価性あり）は100名を超えているが、その半数超が市民であり指標値を2割近く上回っていることから指標17はA評価とした。対価性のない寄付会員も指標値の約5倍であり指標18もA評価とした。社会包摂系事業と合わせてC評価はなく、全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成したことを評価する。20周年という節目であったことから、寄付会員が前シーズンに比べて大幅に増加したと推察する。「会員」という枠組に限らず、広くレジデンシャル事業の理解者・受益者等の総数増加に引き続き取り組んでいただきたい。
	14：オープンクラス実施数【3企画以上/年】 ※一般市民向け（バレエ・からだ大人・からだ子供・レパートリー等）	3企画	B	
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】	99.5%	A	
	16：活動支援会員数【103人以上/年】	106人	B	

生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)前頁記載のとおり】	17: 16のうち、市内在住者数【48人以上/年】	56人	A	【外部有識者】 評価は妥当である。
	18: 寄付会員数【21人以上/年】	103人	A	
	19: 18のうち、市内在住者数【11人以上/年】	50人	A	
文化度向上系 同上 【アウトカム(最終)芸術文化が「まちづくり(観光・国際交流・経済等)」に寄与している】	【再掲】 4: Noism O, 1, 2 県外公演数【2回以上/年】	2企画	B	【財団】 指標20は指標値を大幅に上回ったためA評価とした。全体としてC評価はなく、【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成したことを評価する。 【外部有識者】 評価は妥当である。
	【再掲】 9: 他団体との連携企画数(共催・受託等)【3回以上/年】	9回	A	
	20: 新潟公演の市外者来場率【10%以上】	25%	A	

総合所見		
財団(自己評価)	新潟市(意見)	外部有識者(意見)
<ul style="list-style-type: none"> 国際活動部門としては、2022年夏に初演した「Noism×鼓童『鬼』」の再演で全国ツアー(新潟、神奈川、岡山、熊本)を行ったほか、3月にアメリカ・ワシントンで行われた「全米桜まつり」でのワシントンバレエ団への振付、5月に富山県・黒部市の野外ステージでの上演、20周年記念公演「Amomentof」(新潟・埼玉)、8月に富山県・南砺市での上演と年間を通して、充実した活動を行った。 20周年記念事業として行ったクラウドファンディングも300万円の目標額を達成、20周年記念公演寄付は寄付額が150万円を超えた。クラウドファンディングを原資に制作した記念冊子に寄稿いただいた批評家・三浦雅士氏からは、20世紀に数多くの著名振付家を排出したシュツトガルトを例に挙げ、「いずれ新潟が21世紀バレエにおいて燦然と輝くことになるだろうと、私は信じている。」とエールをいただいた。 地域活動部門は、評価書に記載のワークショップのほか、佐渡のアース・セレブレーションでの鼓童研修生との共演、日本再生医療学会(朱鷺メッセ)での実演など、各地で活動した。ワークショップについては、主催と依頼の整理をしていく時期に来ていると感じている。活動全体の中で見直しを図っていききたい。 20周年を迎えたことで取材も多く、読売新聞(全国版)、NHKワールドJAPAN(約160カ国で放送)、NHKラジオ深夜便、など各種メディアにて、全国・世界に向けて紹介された。 全20の評価項目中、A評価は過半を超える11項目であり、C評価はなく、高いレベルで指標を達成することができた。 B評価のうち、公演やワークショップ等の企画数や実施回数などは予算措置や人員体制と密接に関係するためA評価を目指すのは容易ではないが、活動支援会員数(指標16)は、次期シーズンのA評価を目指して広報などに取り組み、自主財源の確保と認知度向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 20周年という節目の年であり、例年以上に周囲の期待が高まる中で、限られた経営資源を効率的かつ効果的に活用し、多くの指標においてA評価に至ったことを高く評価する。 Noism Company Niigataの活動を積極的に支持いただいている固定層が存在している。本市の特色ある文化芸術の一つとして誇りや愛着を持っていただくことは、市としても本望である。一方、レジデンシャル事業の公益性に鑑み、実施主体である芸文財団にはより広い層へも効果を波及させることを念頭に置いた取組を期待する。 芸文財団の有する独自チャンネルはもとより、市の広報媒体や機会、市事業との連携など、市が提供でき得る様々な可能性を有効に活用し、レジデンシャル制度の目標「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンスの向上」「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」の実現に向けて、引き続き、取り組まれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 公演来場者数については「1公演当りの平均数」が指標としてあるとわかりやすいのではないかと。 アウトリーチは、出演しているNoism2のメンバーにとっては、自分達のやっていることを認めてもらえる場になっているのではないかと。 アウトリーチの対象者であることも達は、つまらないと思ったら絶対に集中しない。Noism2メンバーがプロとして自覚する場として劇場より数倍厳しい環境なので、ぜひ続けてほしい。 市民へ普及や関心を集める事業として「レクチャー」「アウトリーチ」「ワークショップ」「スクール」「オープンクラス」とタイトルだけ見ても多くのものがあるが、何を目的にしているか整理した方が良い。 こどもだけでなく大人にも関心をもってもらうことが重要。そこからNoismを含め、りゅーとびあの良い観客になってくれる人たちを作っていくことが重要。 障がい者向けワークショップはとても重要。劇場に來れない、ダンスを踊ることにハンデを持っている人にダンスの幅広さ、踊れるダンスがあることを伝えることは社会包摂的な事業でとても貴重なこと。 市外来場者率、県外公演、海外公演は、新潟市をお米だけでなくダンスも盛んな文化的な街だと知ってもらえ、新潟市のブランディング、シティセールスとしての価値がある。 最近のNoism作品はともて心に訴えるものがあり、空席があるのもったいない。 市補助率が少しずつ下がっているのは良い傾向。 <p>以下参考意見(本評価書とは直接関係しない意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟市にはNoismだけでなく、重要無形文化財の市山流、芸妓文化、新潟総踊り、市内バレエ・ダンス教室と非常に分厚い集積があり特徴的な踊り文化がある。Noismの評価の高まり、中学校におけるダンスの教科化、パリ五輪におけるブレイクダンスなど、ダンスを取り巻く社会の評価が相当変わってきている。広い意味でのダンス文化にアドバンテージを持つ新潟市は、「ダンス文化の振興ビジョン」もつべきではないかと。真摯にご検討いただきたい。 NoismのOGOBが新潟市で活躍し、後輩を育てていけるような体制整備がなされるとさらに良い。 新潟市は「1人でも多くの新潟市民がNoismの受益者となることを期待している」と言っている。市と財団はぜひ積極的にコミュニケーションをとって、それが実現されるよう努力して欲しい。 今までNoismに触れて来なかった人、舞踊に触れて来なかった人に対して、市のレジデンシャル制度だからこそできるアプローチがあるのではないかと。

↓ 反映

総合評価(事業評価)
レジデンシャル制度目標①・方針①(対応する事業・活動: 上表「文化度向上系」) <ul style="list-style-type: none"> すべての指標(指標1,2,3,4,5,6,7,8,9,20)で要求水準を達成しており、方針①「質の高い舞台芸術作品の創造・発信」「本市独自の多様な文化を活用」を実践し、目標①「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンス向上」につながっている。20thシーズンは、北は新潟から南は熊本まで国内公演を行った。加えて「全米桜まつり」でのワシントンバレエ団への振付、NHKワールドJAPANでの放送などワールドワイドな活動ができた。また、新潟北高校貸切公演実現等の各種取り組みは、19thシーズン(新潟東高校貸切公演実施)に引き続き、レジデンシャル制度の意義を踏まえ、限られた経営資源の中で柔軟性をもった事業運営を行うことで実現を図った。次期シーズンも要求水準を達成できるよう努めたい。なお、「1公演当たりの平均来場者数が指標としてあるとわかりやすいのではないかと」等の外部有識者意見にも十分留意のうえ、成果を適切に測定するために指標の見直しも含めて検討していききたい。
レジデンシャル制度目標②・方針②(対応する事業・活動: 上表「社会包摂系」「生きがい創出系」) <ul style="list-style-type: none"> すべての指標(10,11,12,13,14,15,16,17,18,19)で要求水準に達しており、方針②「市民や地元の様々な団体等との交流・連携」「舞台芸術の普及・啓発・人材の育成」を実践し、目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」につながっている。アウトリーチとワークショップの開催回数は指標を大きく上回ったことに加え、アウトリーチ・オープンクラスの参加者満足度はほぼ100%であり、受講生に対してきめ細やかな対応を行っている。また、寄付会員は「20周年記念公演の寄付」を募ったこともあり指標値の約5倍103人と多くの寄付者を獲得した。評価会議のオブザーバーであるアーツカウンシル新潟の意見「市外の寄付者が増えていくと全国への発信という面でもうたえるようになる」を踏まえて、次期シーズンも市内外から寄付を継続してもらえよう、寄付者に感謝を伝え最新の情報を提供するなど関係性維持を図る。次期シーズンもすべての要求水準を達成できるよう努めたい。
レジデンシャル制度目標③・方針③(対応する事業・活動: 上表「文化度向上系」) <ul style="list-style-type: none"> すべて指標で要求水準に達しており、方針③「国内他館との協力関係の構築」「舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用」を実践し、目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」の実現に向けて更に前進できた。レジデンシャル制度の意義、他団体との連携・強力関係の強化を更に深化させ、次期シーズンも要求水準(指標見直しも検討)を達成できるよう努めたい。